

## 令和4年度 生駒市障がい者地域自立支援協議会 会議録

時間：令和4年8月1日（月）  
午後1時30分から  
場所：生駒市コミュニティセンター  
403・404会議室

### 1. 開会

事務局：（あいさつ）  
（会議の公開について説明、傍聴者の確認）  
（会議の録音の許可のお願い）  
（手話通訳者・要約筆記者の入室許可のお願い）  
（発言の際の注意事項について説明）  
（委員交代の案内、出席者の確認）  
（資料の確認）  
（福祉健康部長あいさつ）

### 2. 案件

（議事の進行は梅川会長）

#### （1）生駒市の障がい福祉の動向について

事務局から、案件（1）の「生駒市の障がい福祉の動向」、「令和3年度生活支援センター概況報告」、「令和3年度の各部会活動報告」について（資料2～7）について説明後、質疑応答

伊藤委員：各部会のメンバー構成表や議事録を確認したいが、資料として添付は可能か。

事務局：各議事録は膨大になるため現状は活動報告において要点をまとめている。メンバー構成表については次年度の会議から資料として追加する。

辻村委員：資料P46に課題として、緊急性や困難度が高い事例が増加する中で相談支援専門員の更なる充足や、新たな居場所づくり等が必要である旨記載されているが、具体的な対策をどう考えていくのが重要。例えば相談支援専門員は何人増やすのか、新たな居場所づくりとはどのようなもので、またどれだけ必要なのか等についてより明確にするため、関係機関が意見交換したりや見通しをつけるための議論の場が必要だと考える。

事務局：予算を伴う内容なので、具体的な数値を示すのは難しいかもしれないが、来年度は第7期生駒市障がい者福祉計画の策定作業の年であり、この協議会の場でもやや具体的な議論が可能と考えており、その際は皆さんのご意見もいただければと考えている。

山本委員：こども支援部会について関心があるが、部会でどのような話があったのか具体的な資料を見ることは可能か。公開はしていない資料なのか。

事務局：資料は膨大で、現状公開できるような形になっていない。閲覧希望があれば、掲載方法も含め公開するかについては検討する時間をいただきたい。

山本委員：公開できない情報もあると思う。私自身が課を訪ねて見せて欲しいとお願いするという方法もあると思うので、その際はよろしくお願ひしたい。

(2) 第6期生駒市障がい者福祉計画の評価について  
事務局から、資料8「第6期生駒市障がい者福祉計画事業評価シート」について説明後、質疑応答。

山本委員：放課後等デイサービスについて、事業者・利用者が増えているか今後どのように対応するのか考えているのか。

事務局：現在、運動を取り入れたものや学習支援等様々な療育の支援方法・特性を持つ事業者が増えており、利用者の側も選択肢が増えている。その中で、支援を必要とする方に対しそのニーズにできるだけあわせて滞りなく相談から利用に速やかに移れるよう体制を整えていきたいと考えている。

山本委員：利用者が増えて慌てて対応しなくてよいように、次期計画をしっかりと作れるよう進めてもらいたい。

(3) 令和3年度生駒市福祉センター指定管理事業の評価について  
事務局から、資料9「令和3年度生駒市福祉センター指定管理事業実施報告書」について説明後、質疑応答。

伊藤委員：コロナ禍で中止になった料理やカラオケの利用について、どのような状況になれば再開されるのか、判断基準などがあれば教えてほしい。

事務局：福祉センター単独での判断は難しく、市全体の対策本部会議で示された基準や、他の高齢者・障がい者の方が利用される公共施設の動向なども踏まえた上での判断となる。

伊藤委員：県の状況も踏まえないといけないだろうが、楽しみにしている利用者もいるということもお伝えしておく。

(4) 令和4年度生駒市の障がい者福祉の取り組みについて  
事務局から、資料10「令和4年度生駒市の障がい者福祉の取り組みについて」について説明後、質疑応答。

浅井委員：成年後見制度利用支援事業の拡大について、一定要件の部分の具体的な内容について教えてほしい。ネグレクト等困難案件や緊急性の高い案件等で、周りの親族への支援をさらに広げるといったことなのか。

事務局：一定要件の内容については、高齢者の権利擁護を担当する福祉政策課と協議をしているところでまだ明確なものはお示しできない。困難案件等への対応については、引き続き関係機関とも協力しながら支援をしていく。今回は、報酬助成の対象を拡大することで、制度の利用促進を図ることを内容としている。

浅井委員：親亡き後の課題があるが、ケース支援の中で、後見手続がなかなか進まない、もっとスムーズに進まないかと感じることが多々ある。後見人に対する報酬がかかるということが一つネックになっている。予算の制約もあると思うが、他市では助成制度が進んでいるところもあるのでぜひ進めていただきたいし、協力できるところは協力もしていきたいと考えている。

3. その他  
全体を通しての質疑応答。

古川委員：令和3年度の事業報告で、北部地域障がい者福祉事業所整備事業に関して、全ての障

がいのある方が関わるような事業なのか、どのような内容なのかを教えてください。また、令和4年度の主な取り組みの中で、NET119について記載があるが、事故等があったときに警察へ連絡ができるNET110の仕組みはないのか、NET119と同様に連携体制ができるのであれば検討してほしい。

事務局：北部地域の整備事業については、知的障がい者の家族会の方から、北部地域でも施設を作してほしいと長年要望があったが、いこま福祉会さんが当該地域で施設の建設を検討されているところに、ちょうど旧高山幼稚園跡地の活用が可能となったことから、本年4月から生活介護事業所として開設した。事業所では、高山地区でとれた農作物を搬入し、加工・出荷する作業が行われ、利用者の生きがいづくりのほか、工賃収入を得る場にもなっている。NET119については、利用登録の説明会を9月4日に行う予定である。NET119については、所管が同じ市の消防本部ということもあり連携体制がとりやすいが、NET110については警察組織が所管になるため、連携が難しい。昨年7月から電話リレーサービスが全国的に始まり、緊急通報や通常の電話連絡にも利用できるのも、ご承知いただきたい。

古川委員：NET110の学習会を県で行ったが、市でも同じような学習会ができるのではないかと。さらに字幕電話サービスも10月から開始されると聞いている。高齢者で耳の聞こえにくい方も多いと思うので、生駒市でも少しずつ広がっていけばと思っている。

事務局：市が得た情報があれば、聴覚障害者団体の方と共有しつつ研究していきたいと考えている。また引き続き団体からも市のほうへ情報をいただきたい。

#### 4. 閉会

事務局：今年度、開催を予定している本協議会につきましては、今回の1回となる。なお、来年度地域自立支援協議会については、第7期計画の策定の協議等があり複数回の開催となる予定なので、引き続きご協力をお願いしたい。

(閉会)